一遍上人は元祖生涯ウォーカー　歩いた道と距離

八柳　修之

今年は遊行寺開山 700 年。遊行寺は時宗の本山、開祖は一遍上人である。時宗は 700 年もの昔、一遍上人が開いた念仏宗。鎌倉時代、法然上人が浄土宗を開いたが、一遍上人は浄土宗の一流である。時宗では信仰する仏は阿弥陀仏、お称えするのは「南無阿弥陀仏」一遍上人は 1239 年、伊予国（愛媛県）の豪族、河野道広の子として生まれた。10 歳のとき母と死別し出家、13 歳のとき大宰府にわたり法然上人の孫弟子の聖達上人から浄土の教えを学ぶこと 12 年。25 歳のとき父の死をきっかけに伊予に戻った。一遍上人は布教のため 1289 年 8 月、51 歳まで歩いた生涯ウォーカーともいえる。一体、生涯何キロ歩いたか。関係筋に問い合わせたところ、そのような調べはないという。しからば、当時とは道路事情が全く違っていることは承知の上で調べてみた。一部 AB 間直線法に寄った。伊予国内、大阪府内、京内移動はカウントしていない。

（出典：大橋俊雄著：一遍と時宗教団、教育社）

32 歳：再び出家、善光寺、伊予の窪寺で修行、ゆるぎのない信迎を確立する。（善光寺往復 2200 km）
36 歳：同行 3 人（妻、娘、下女）と伊予を出立。淡路島・明石・大阪・京・高野山・熊野本宮・京・伊予に戻る。（約 1550 km）
37 歳：九州一周約（600 km）
一遍上人が巡り歩く所、必ず**「御賦算」**（お札くばり）がある。
お札「南無阿弥陀仏決定 60 万人」とは、60 ヵ国、60 万人にお札を配ることを願ったものである。
一種の記録票。片瀬の御堂で 60 万人を達成。生涯 250 万人に配布。（因みに現在，信徒数 13 万人）。

40 歳：豊後国・伊予国・厳島神社・備前国。（337 km）
41 歳：上京。善光寺・佐久郡小田切の里で念仏中、突然、踊り出す。踊り念仏の始まりであった。（650 km）
42 歳:：碓氷峠を越え、小野寺・白河・江刺（現北上左遷された祖父河野通信の墳墓　（佐久～北上 583 km）。
43 歳：海岸沿いを南下し、松島、勿来の関、常陸を経て石浜（現台東区橋場）（887 km）
44 歳：石浜から府中・多摩川・長後・巨福呂が谷で鎌倉入りを阻止される。3 月、やむなく片瀬の地蔵堂に踊り屋を建て踊念仏を行う。3 年ばかりの間に見せるための踊り念仏となっていた。幕府に抵抗する一遍、見たさ、足を上げて踊る尼僧の姿見たさに貴賤を問わず集まって来た人々。一遍上人は偉大なる宣伝マン（東大松岡教授）7 月、片瀬発、もろこしが原・小田原・湯本・芦之湯・大崩峠・三島（石浜～三島 190 km）
45 歳：東海道を西へ。三河国、尾張国甚目寺、美濃国、近江国に入り草津（333 km）　**46 歳：**京，四条京極釈迦堂など訪れた。**47 歳**：保津川沿いを北上し丹後国久美浜、但馬国・因幡国を経て伯耆国、出雲路を辿り大山山麓、峠を越えて美作国一宮神社。（490 km）
48 歳：摂津国に出て再び四天王寺、河内国、大和国、山城国、播磨国（約 320 km）　**49 歳**：播磨国書写山・備後国、安芸国厳島神社　**50 歳**：伊予国繁多寺・大三島神社　**51 歳**：正応 2 年（1289）讃岐国善通寺・阿波国、摂津国明石の浦・兵庫に赴き観音堂に入り 2 週間、弟子たちに見守られ **8 月 23 日、入滅**。

一遍上人が生涯歩いた距離は約 1 万 km であった。

（参考）日本縦断　宗谷岬～佐多岬間　3000 km
（2015・9　FWA 大和田精吾さん）